



第16回 運営推進会議 議事録

開催日：令和6年3月14日(木) 13:30～

開催場所：デイサービスセンターけあのすけ

参加者：利用者（家族）代表者 2名

市職員 1名

民生委員 1名

事業所職員 3名

議題：①運営状況についてのご報告（ご利用状況、配置職員等）

②R6年度 介護報酬改定について(4月～ご利用料金の変更について)

③次回開催日や開催する時間帯等について（ご要望）

④介護相談、意見交換など

① 運営状況について（ご利用状況、配置職員、活動等）

<利用者様のご利用状況について>

・令和6年3月 現在の登録人数：22名（男性8名、女性14名）

・平均年齢

	40歳～	50歳～	60歳～	70歳～	80歳～	90歳～	平均年齢
男性	0	0	1	2	4	1	80.06
女性	0	0	1	4	3	6	82.36
合計	0	0	2	6	7	7	81.49

○90歳以上のご利用者様も多く在籍されています。

・要介護度別利用人数

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男性	2	1	2	1	2	8
女性	2	4	3	2	3	14
合計	4	5	5	3	5	22

○けあのすけでは、開業時より医療的な処置や経過観察など看護職員の関りが必要な方を積極的に受け入れさせて頂いておりますが、近年では少人数のアットホームな雰囲気でも個別対応を望まれる方(人の多い場所が苦手な方や認知症状のある方等)のご利用も増えてきています。

・平均要介護度（R5 年 10 月～R6 年 3 月）

	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	平均
男性	4.3	4.3	4.3	4.4	3.6	3.5	4.0
女性	2.8	2.9	2.8	3.1	3.0	3.2	3.1
平均	3.2	3.4	3.3	3.4	3.2	3.3	3.4

＜職員の配置状況 3 月現在＞ 在籍数…9 名（うち 1 名は調理員）

利用者様の介護や看護に要する時間を十分に確保するため、職員配置数を多くしています。また、下記職種については毎日出勤しているように勤務を組んでいます。

職種	業務内容	常勤	非常勤	計
管理者	職員・業務の管理	1（兼務 1）		1
生活相談員	生活指導、養護、送迎、 介護予防・通所介護計画作成	2 （専従 1、兼務 1）		2
機能訓練員	機能訓練指導、助言		3（兼務 3）	3
看護職員	健康チェック、動作訓練		2（兼務 2）	2
介護職員	介護全般、送迎	2（兼務 2）	2（専従 2）	4

＜活動報告＞

- ・毎月、季節に応じた飾りつけを創作活動の一環として作成し、フロアに飾らせて頂きました（10 月→秋の味覚 11 月→コスモス 12 月→クリスマス 1 月→お正月 2 月→節分 3 月→桜、ひな祭り）。
- ・お誕生日のお祝い（毎月）
写真を撮り、個別にお祝いの色紙をプレゼントさせて頂きました。
- ・12 月にクリスマス会をしました。

② R6 年度 介護報酬改定について

- ・R6 年 4 月 1 日より、介護報酬改定があります（3 年に 1 度改定）。
これにより、基本料金の変更や加算内容等の見直し（料金改定）をさせていただきます。
今回の料金改定にあたっては、契約書の取り直しに代わり、新しい料金体制への承諾をお願いさせていただきます。書面にて順次ご案内させていただきますので、ご署名・ご捺印のうえ、3 月 30 日までに事業所へご提出下さいますようお願い申し上げます。

③ 次回開催日や開催時間帯等について

＜次回の開催予定月＞

令和 6 年 9 月

※都合により日程の変更をさせて頂く場合や、参加人数を制限させて頂いたりする場合がございます。

④介護相談、意見交換など

- ・能登半島の地震のニュースで、送迎中に塀などが倒壊して道が通れなくなり、利用者 5 名を 1 人の職員が高台へ避難させないといけないような出来事があったというのを見た。こちらのデイサービスでは送迎中のそういった事への対応などは想定しているのか教えて欲しい。

→当デイサービスにおいて送迎中に地震などの災害があった場合、1 人の職員と一緒に避難する利用者は最大で 2 名までとなっています(車椅子 1 名と歩行可能な利用者 1 名の組み合わせか、歩行可能者 2 名)。基本的には大通りを通るようにしていますが、細い道を通らないと行けないお家もありますし、津波浸水想定地域に該当する地域の方もおられるので、送迎時には災害を意識したシュミレーションをしながら対応させて頂くようにしています(高台や避難できそうな場所、経路の把握など)。

- ・備蓄はしていますか？

→屋外に防災用の倉庫を設置し、備蓄しています。災害時は避難完了後、一人でも多くの方を家族様の元へ帰すことを優先しますが、帰宅困難となられる方も想定し、事業所で 1 泊はできるように水や食料、オムツ類など必要なものを備えています。今後は 3 日分程度は確保できるようにしていく予定です。

- ・自宅で床に座り込んでしまって立ち上がれず、家族を呼ぶことがあった。家族の不在時にこういう事が起こると長時間助けてあげられないので、そういった時の為に何か訓練して頂くことはできるか？

→個別機能訓練加算(1 回 56 点)というものがあり、希望により個々の状態に応じた訓練を実施させて頂くことが可能です。床から立ち上がる訓練をメニューに組み込むことができるので、ご検討下さい。

また、ご自宅での座り込みについては、手の届く位置に緊急を知らせるもの(鈴や音の出る物)を設置されたり、不在時間が長いようでしたらモニターを設置して安否確認をされている方もいらっしゃいます。実際に座り込みが発生した時の対応も大切だと思うので併せてご検討下さい。